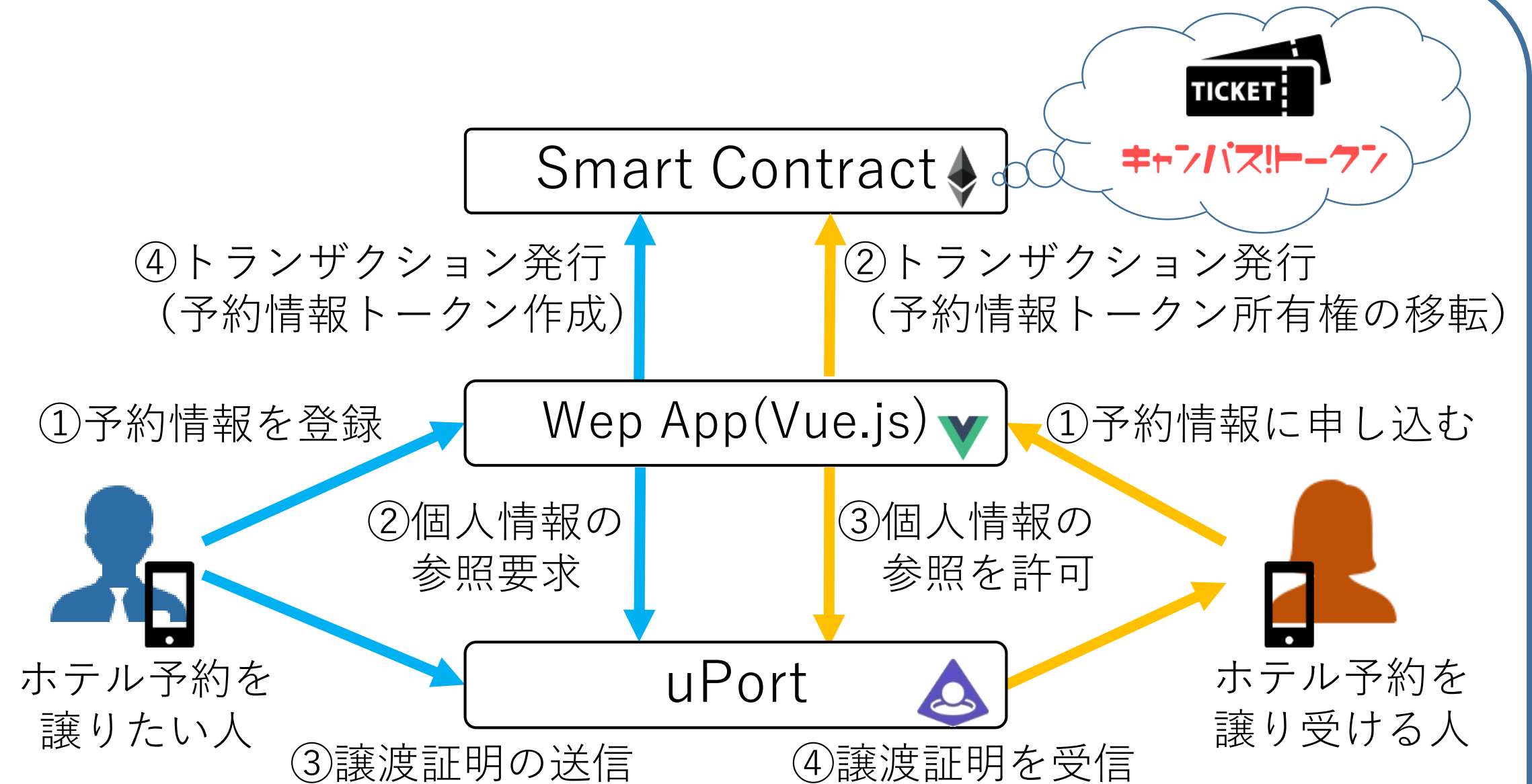


# Blockchainでアイデアを形にするレシピ

## キャンパス!

ブロックチェーン推進協会主催のアプリケーションコンテストで入賞したアプリケーション。キャンセルしたいホテル予約を、他の誰かに譲ること（パス）ができる。予約の権利をP2Pでやりとりし、第三者を介さずに信頼性のある取引が可能。



### 予約の登録

予約を譲りたい人は、行けなくなったホテル予約をブロックチェーンに登録します。

### 譲渡の申込

予約を譲ってほしい人は、登録されたホテル予約に申し込み、譲り受けることができます。

### 譲渡の証明

宿泊時にアプリを提示し、予約が正式譲渡されたことをブロックチェーンで証明します。

## 本当においしいブロックチェーンサービスの作り方（キャンパス！の場合）

### 💡 アイデア検討は課題解決ベースで！

『ブロックチェーンを使うこと』が目的ではなく、『**どう課題を解決するか？**』を重視！

### 💡 最後の味見は忘れずに！

ブロックチェーンの技術は**日々進化**している。利用事例が少ない技術も多く、それがサービスに有用かどうか使ってみて確認することが大事！



### 💡 ブロックチェーンの味を活かす！

出てきたアイデアを類似性でグルーピング。**ブロックチェーンが活かせるか**(分散化、トレーサビリティ、耐改ざん性等)という観点で評価する。キャンパス！は権利を譲渡するため「トレーサビリティ」との相性が良く、トークンを扱いやすいという特徴を活かせるアイデアとして選定！

### 💡 データ管理がミソ！

ブロックチェーンはデータが消せない。そういった**特性を考慮**しながら、ブロックチェーンで管理するデータを決定する。例えば、取引の記録のように残しておくべきデータはブロックチェーンで、個人情報のように消す必要があるデータはRDBで管理する。

おいしい**ブロックチェーンサービス**を共創しましょう！！